USB接続 10BASE-T/100BASE-TX LANアダプタ

Lan-Egg Slim for Fast Ethernet

USB-ET/TX-S

取扱説明書

株式会社アイ・オー・データ機器

86543-03

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

安全にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

パソコン本体の電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。火災や故障の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となります。
- 指定されたスロットに水平に入れ、奥のコネクタまできちんと差し込んでください。正しく装着されていないと、火災および故障の原因となります。

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、取扱説明書をご確認になり、必ずパソコン本体・周辺機器の電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

電源コードをACコンセントに差したまま行うと、感電および故障の原因となります。

⚠ 注意

厳守

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

注意

本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
●静電気の影響の強い場所

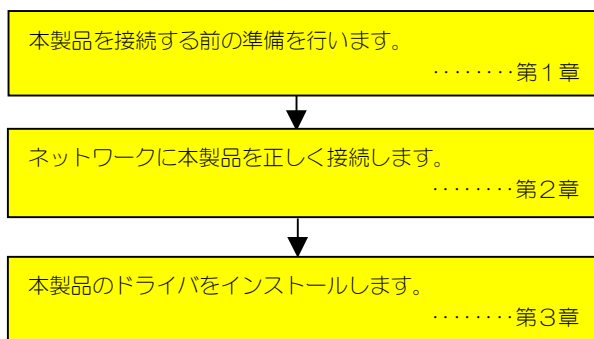
本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●そばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

はじめに

このたびは、USB 接続 10BASE-T/100BASE-TX LAN アダプタ「USB-ET/TX-S」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

以下のフローに沿って、必要な個所をお読みください。

本書での呼び方

呼び方	意　味
「ネットワークOS」または「NOS」	Network Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me/98	Windows Me および Windows 98 の総称
Windows	Windows Me/98 および Windows 2000 の総称

もくじ

1 ご使用になる前に　必ずお読みください

2 接続しよう　必ずお読みください

3 インストール

4 付　録

特長

●本製品はマイクロソフト社の Designed for Windows ロゴを取得しています。

このロゴマークは品質向上のためのテストに参加し、合格したパソコンや周辺機器だけが使用できます。このテストによりさまざまなトラブルの元になる不正な動作をしないことが確認されています。ロゴマークがついている製品は、Windows のプラグアンドプレイに対応しているので、周辺機器をパソコンに接続すると接続された機器を自動的に検出し、必要なファイルだけをパソコンにインストールするので、セットアップが簡単です。

●10BASE-T/100BASE-TX を自動認識

●プラグ＆プレイ対応の簡単インストール

●IRQ、I/O ポートを使用しないため、貴重なリソースを無駄にしません

●PC カードスロットの少ない薄型ノートパソコンでも、PC カードを使用せずネットワークに接続可能

●バスパワーモードの動作により、外部電源不要

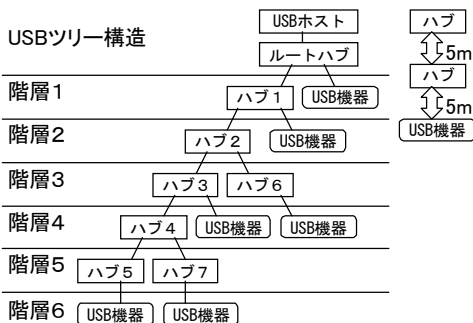
●ネットワーク状態監視用 LED インジケータを装備しているので、ネットワークトラブルの切り分けができます

●ケーブル一体型の軽量・コンパクト設計

・本製品は、パソコン本体の USB ポートに直接接続するか、セルフパワーモードで動作している USB ハブに接続してください。
・本製品は 100BASE-TX に対応しますが、USB の通信速度に依存します。

《USB の仕様について》

USB ツリー構造のルール

・USB 機器とハブを含めて最大 127 台まで接続できます。
・USB ホストとルートハブはツリーに1つのみ存在できます。
・最大6階層カスケード接続できます。
・ハブ⇔ハブ、ハブ⇔USB 機器をつなぐケーブルは最長 5m 以内です。
・6 階層×5m で最大 30m まで接続できます。

セルフパワーとバスパワー

・セルフパワー：AC アダプタを利用して、外部から電源を供給できます。
・バスパワー　：電力を他の USB ホストから得ます。

Full スピードモードと Low スピードモード

転送速度	Mbps
Full	12
Low	1.5

RS-232C ポートの場合、100～200 Kbps(= 12.5K～25K バイト/sec)が上限なので、Low スピードモードでも RS-232C ポートとは比較にならないほど高速です。
転送方式には大きく分けて 4 種類があり、Full/Low スピードモードも含めて USB 機器側が必要な転送方式を自動的に選択して使用しますのでユーザーが意識する必要はありません。

《転送方式一覧》

転送の種類	アイソクロナス転送	インタラプト転送	バルク転送	コントロール転送
Fullスピード	○	○	○	○
Lowスピード	–	○	–	○
主な用途	ビデオカメラやスピーカなどリアルタイムな転送	キーボードやマウスなど反応の素早い転送	プリンタやスキャナなど、高信頼な転送	デバイス制御用転送
優先順位	1	2	3	（2）

–：サポートされていません。

1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

P2　箱の中の確認

箱の中身を確認します。

P3　ユーザー登録をしよう

ユーザー登録を行います。

P4　動作環境の確認

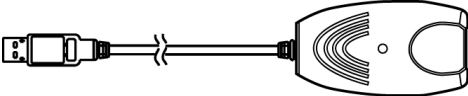
本製品に必要な動作環境を確認します。

P5　各部の名称・機能

本製品の各部の名称・機能を確認します。

P6　注意していただきたいこと

本製品を使用する際の注意事項です。

P8　実行用ディスクを作ろう

添付のサポートソフトの実行用ディスクを作ります。

箱の中の確認

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がございましたら、弊社 PLANT コールセンターまでご連絡ください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

内容物	詳細	個数
LAN アダプタ（USB-ET/TX-S）		1 台
サポートソフト	「USB-ET/TX-S サポートソフト」 フロッピーディスク（3.5 インチ 2HD）	1 枚
その他	取扱説明書（本書）	1 冊
	ハードウェア保証書	1 枚
	ユーザー登録カード	1 枚
	ハードウェアシリアル No. シール	1 枚

ユーザー登録をしよう

■登録の準備をします

・ハードウェアシリアルNo.シールを所定の場所に貼ります。

添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

■ユーザー登録をします

インターネットによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。いずれかの方法で登録を行ってください。

・インターネットによる登録

http://www.iodata.co.jp/regist/

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
上記のアドレスにある「オンラインユーザー登録」のフォームにて、ユーザー登録を行ってください。
オンライン登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

・ハガキによる登録

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入の上、弊社まで必ずご返送ください。

ハガキ登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れなどがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

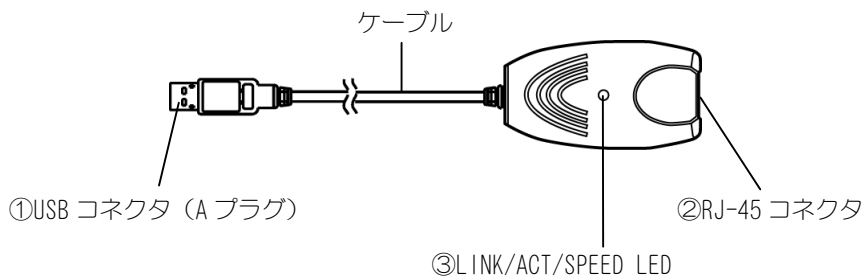
動作環境の確認

本製品の動作環境を確認します。

対応機種	USB ポートを搭載した以下の機種 ● NEC PC98-NX シリーズ ● DOS/V マシン （弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っております。）
対応OS （日本語版のみ）	Windows Me Windows 98（Second Edition 含む） Windows 2000
ネットワークプロトコル	TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX

各部の名称・機能

各部の名称および機能の確認を行います。

●LAN アダプタ（USB-ET/TX-S）の各部の名称・機能

名称	機能
①USBコネクタ	パソコン（またはUSBハブ）のUSBポート（Aタイプ）に接続します。
②RJ-45コネクタ	非シールドツイストペアケーブル（UTP）を接続します。 ・10BASE-Tの場合はカテゴリ3,4,5 ・100BASE-TXの場合はカテゴリ5
③LINK/ACT/SPEED LED	LINK/ACT/SPEED LEDインジケータは、ネットワークの接続状況と接続速度を示します。 詳細は以下の【LEDについて】をご覧ください。

●LED について

LED の状態により以下の意味があります。

LED		意味	
赤	点灯	10Mbps 通信中	データ送受信なし
	点滅	10Mbps 通信中	データ送受信中
緑	点灯	100Mbps 通信中	データ送受信なし
	点滅	100Mbps 通信中	データ送受信中
-	消灯	切断	

注意していただきたいこと

- サーバーにログインしている場合、本製品は取り外さないでください。
  取り外した場合、サーバーから切断される場合があります。接続を回復する際は、Windows を再起動してください。

- USB ハブを多段で接続している状態で本製品が正常に動作しない場合は、パソコンの USB ポートに直接接続してご利用ください。

- 本製品をパソコン本体から取り外した後に再度接続する場合※1 は、Windows の[デバイス マネージャ]画面内の[ネットワーク アダプタ]に[I-O DATA USB-ET/TX-S]が表示されていないことをご確認の上※2、接続してください。
  ※1：連続して頻繁に抜き差しを行うと、誤動作する可能性があります。
  ※2：確認方法は、以下のページを参照してください。
  Windows Me→19 ページ、Windows 98→27 ページ、Windows 2000→33 ページ

- 本製品や USB ケーブルの上に重いものをのせたり、USB ケーブルを引っ張ったりしないでください。

- 電波障害について
  ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。
  ・テレビやラジオなどからできるだけ離す。
  ・テレビやラジオのアンテナの向きを変える。
  ・コンセントを別にする。

● 本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

|
|---|
| この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCI |

実行用ディスクを作ろう

本製品に添付されているサポートソフトディスクは、必ず以下の手順でバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてお使いください。
ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。
USBポートが１つのみのパソコンで、USBフロッピーディスクドライブをお使いの方は、次ページをご覧ください。

1.44Mバイトでフォーマット済みの空きのフロッピーディスク（3.5インチ 2HD）を用意します。

サポートソフトディスクを書き込み禁止にします。

[マイコンピュータ]→[3.5インチ FD]を右クリックし、[ディスクのコピー]を選択します。

メッセージにしたがって、バックアップを取ります。

サポートソフトディスクと空きのフロッピーディスクを、画面のメッセージにしたがってバックアップを取ります。

サポートソフトディスクを破損した場合の修理は有償です。必ずバックアップを取り、サポートソフトディスクは大切に保管してください。

USB ポートが1つのみのパソコンで、USB フロッピーディスクドライブをお使いの場合

USB ポートが1つのみのパソコンで USB フロッピーディスクドライブをお使いの場合は、サポートソフトディスクからインストールできません。
以下の方法でサポートソフトの内容をハードディスクにコピーしてください。

[すべてのファイルを表示する]に設定します。

①[スタート]→[プログラム]→[エクスプローラ]を順にクリックします。
（Windows 2000 は[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]）
②[ツール]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
③[すべてのファイルとフォルダを表示する]をチェックします。
④[OK]ボタンをクリックします。

“②[ツール]メニューの[フォルダ オプション]”が無い場合、以下の手順で設定します。
→②[表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
③[表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
④[OK]ボタンをクリックします。

ハードディスクドライブ（Windows がインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを新規作成します。

USB ポートにフロッピーディスクドライブを接続し、サポートソフトをセットします。

サポートソフトの内容をすべて手順 2 で作成したフォルダにコピーします。

このあと、【第３章 インストール】内で、サポートソフトの挿入は不要となります。
また、[検索場所の指定]の際は、手順 2 で作成したフォルダ内の[WINME]（または[WIN98]、[WIN2000]）フォルダを入力してください。

サポートソフトディスクを破損した場合の修理は有償です。必ずバックアップを取り、サポートソフトディスクは大切に保管してください。

フロッピーディスクドライブが無い場合

お使いのパソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、以下の手順を行ってください。

インターネット上の弊社ホームページ(http://www.iodata.co.jp/)より、本製品の「サポートソフト」ファイルを入手します。

LHA形式([ファイル種別]に「DOS LHA SFX」または「LHA SFX」)のファイルをダウンロードしてください。

ハードディスクドライブ(Windowsがインストールされているドライブ)に、任意のフォルダを新規作成します。

入手したファイルを、手順2で作成したフォルダで展開します。

このあと、【第3章 インストール】でのインストール時の手順内でサポートソフトディスクが要求された場合は、手順2で作成したフォルダ内の[WINME](または[WIN98]、[WIN2000])フォルダを入力してください。

2 接続しよう

この章では、本製品の接続方法について説明します。

P12　接続

本製品を接続する方法を説明します。

接続

ここでは、本製品を接続する方法を説明します。

接続方法の概要

本製品を接続する前に…

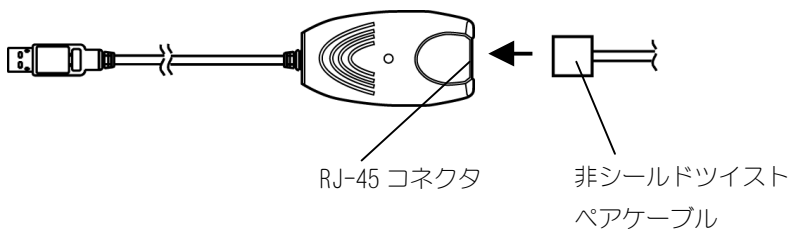
・USB ポートが1つのみのパソコンで、USB フロッピーディスクドライブをお使いの方は、インストール時にフロッピーディスクドライブが使えません。
本製品を接続する前に、9 ページの手順で「サポートソフト」ディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。

・パソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、10 ページを参照してください。本製品を接続する前に、10 ページの手順をあらかじめ実行してください。

以下の手順で接続します。詳細は次ページ以降をご覧ください。

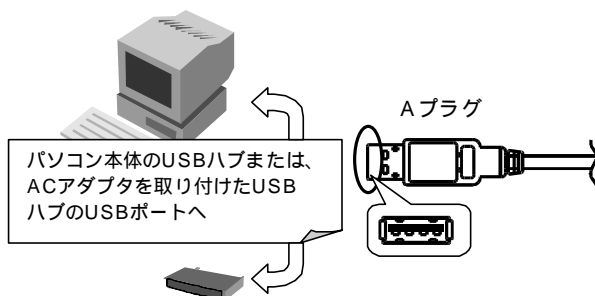
①ケーブルの接続

本製品の RJ-45 コネクタをネットワークに接続します。

10BASE-T の場合は非シールドツイストペアケーブルカテゴリ 3,4,5 を使用してください。
100BASE-TX の場合は非シールドツイストペアケーブルカテゴリー5 を使用してください。

ケーブルの接続が完了しましたら、次ページへお進みください。

②本製品の接続

パソコン本体の電源を入れ、Windows を起動します。

USB コネクタ(A プラグ)をパソコン(または USB ハブ)の USB ポート(A タイプ)に接続します。

・パソコンまたは USB ハブの USB ポート(A タイプ)の位置は、お使いのパソコンまたは USB ハブの取扱説明書をご覧ください。

・USB ハブに接続する場合は、必ず USB ハブに AC アダプタを付けて電源を供給してください。

サポートソフトのインストールを開始します。

お使いの OS にあった個所をお読みください。

・Windows Me の場合　→16 ページ(手順 2 以降)
・Windows 98 の場合　→21 ページ(手順 2 以降)
・Windows 2000 の場合→29 ページ(手順 2 以降)

3 インストール

この章では、サポートソフトのインストール方法を説明します。お使いの OS により方法が異なりますので、以下の必要な個所をお読みください。

P16　Windows Me

Windows Me でご使用の場合にご覧ください。

P21　Windows 98

Windows 98 でご使用の場合にご覧ください。

P29　Windows 2000

Windows 2000 でご使用の場合にご覧ください。

インストールする前に…

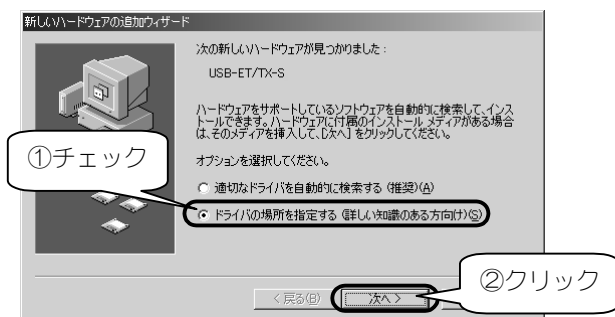
- **USB ポートが1つのみのパソコンで、USB フロッピーディスクドライブをお使いの方は、インストール時にフロッピーディスクドライブが使えません。**
  本製品を接続する前に、9 ページの手順で「サポートソフト」ディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。
- **パソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、10 ページを参照してください。本製品を接続する前に、10 ページの手順をあらかじめ実行してください。**

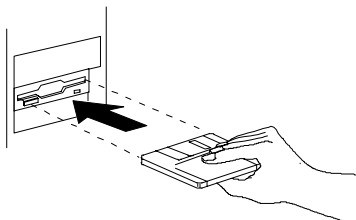
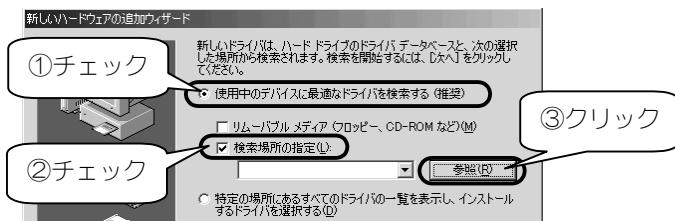
Windows Me

インストール

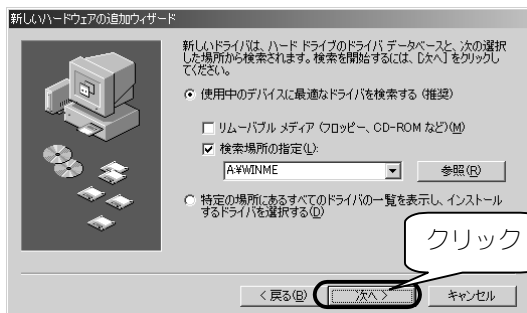
Windows Me を起動し、本製品をパソコン(または USB ハブ)の USB ポート(A タイプ)に接続します。

本製品の接続は、第２章【接続しよう】を参照してください。

[ドライバの場所を指定する]をチェック後、[次へ]ボタンをクリックします。

手順 2 の画面が表示されない場合は
→43 ページを参照してください。

サポートソフトをフロッピーディスクドライブにセットします。

4 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]、[検索場所の指定]のみにチェック後、[参照]ボタンをクリックします。

5 インストールするドライバの場所を指定します。

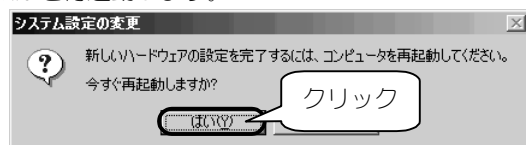
①[3.5 インチ FD](フロッピーディスクドライブ)をダブルクリックします。
②下に表示される[WINME](フォルダ)をクリックします。
③[OK]ボタンをクリックします。

6 [次へ]ボタンをクリックします。

[I-O DATA USB-ET/TX-S]と表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。

[I-O DATA USB-ET/TX-S]と表示されていない場合は
→[戻る]ボタンをクリックして、手順4,5 の画面（検索場所の指定でフロッピーディスクドライブの「WINME」フォルダが指定されていること）を確認してください。

[完了]ボタンをクリックします。

サポートソフトを取り出し、[はい]ボタンをクリックします。

Windows を再起動します。

以上でインストールは終了です。
次ページを参照して終了後の確認を行ってください。

インストール終了後の確認

ここでは、本製品が Windows Me に正常に認識されていることを確認します。

確認事項 I

パソコンを再起動します。

起動途中で以下の画面が表示されますので、任意の[ユーザー名]と[パスワード]を入力して[OK]ボタンをクリックします。

デスクトップ上に「マイネットワーク」アイコンが追加されたことを確認してください。

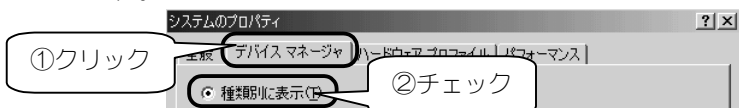
手順2.3 の画面が表示されない場合は、以下の2点を確認してください。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]を順に開き、
①[現在のネットワークコンポーネント]に[Microsoft ネットワーククライアント]があることを確認してください。
②[優先的にログオンするネットワーク]が[Microsoft ネットワーククライアント]に設定されていることを確認してください。

Windows Me では、パスワード管理も一元化されています。ユーザーID とパスワードを利用するネットワークで同一にしておくと、1つのネットワークにログインすれば、他のネットワークにユーザーID とパスワードの入力無しでログイン可能です。

確認事項 Ⅱ

[マイコンピュータ]を右クリックし、表示されたメニュー内の[プロパティ]をクリックします。

[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をチェックします。

[デバイスマネージャ]画面で以下を確認します。

①[ネットワークアダプタ]をダブルクリックして、
②[I-O DATA USB-ET/TX-S]を確認します。

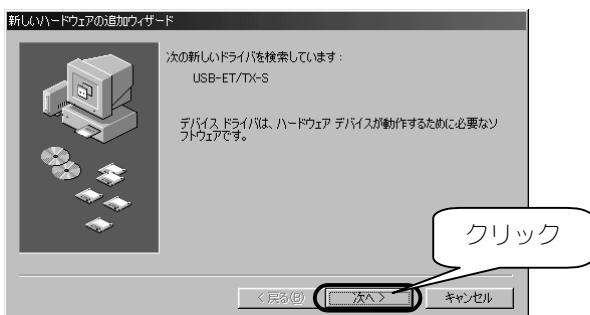
確認後、[OK]ボタンをクリックします。

[I-O DATA USB-ET/TX-S]が表示されない、または前に「！」マークがある場合は
→39 ページを参照してください。

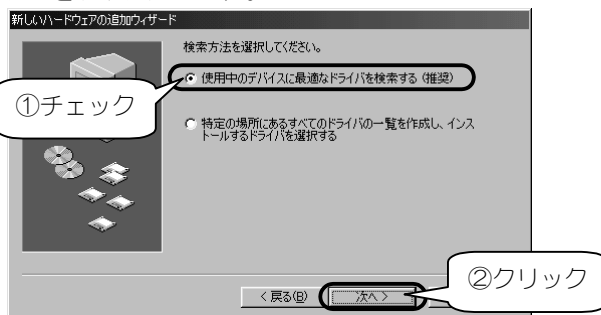
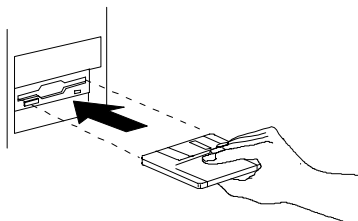
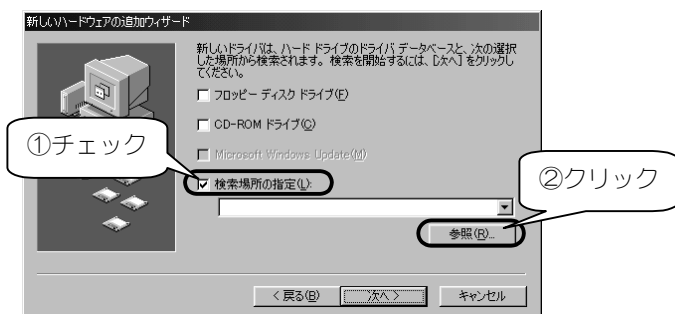
Windows 98

インストール

Windows 98 を起動し、本製品をパソコン(または USB ハブ)の USB ポート(A タイプ)に接続します。

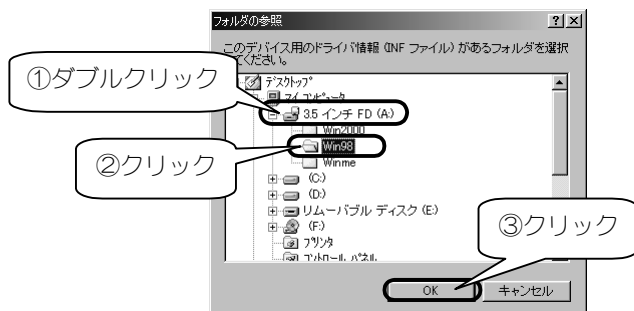
本製品の接続は、第2章【接続しよう】を参照してください。

2 [次へ]ボタンをクリックします。

手順 2 の画面が表示されない場合は
→43 ページを参照してください。

3 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]をチェック後、[次へ]ボタンをクリックします。

サポートソフトをフロッピーディスクドライブにセットします。

5 [検索場所の指定]のみにチェック後、[参照]ボタンをクリックします。

インストールするドライバの場所を指定します。

①[3.5 インチ FD]（フロッピーディスクドライブ）をダブルクリックします。

②下に表示される[WIN98]（フォルダ）をクリックします。

③[OK]ボタンをクリックします。

7 [次へ]ボタンをクリックします。

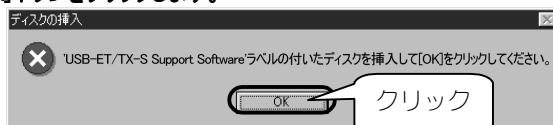
8 [I-O DATA USB-ET/TX-S]と表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。

[I-O DATA USB-ET/TX-S]と表示されていない場合は
→[戻る]ボタンをクリックして、手順5,6 の画面(検索場所の指定でフロッピーディスクドライブの「WIN98」フォルダが指定されていること)を確認してください。

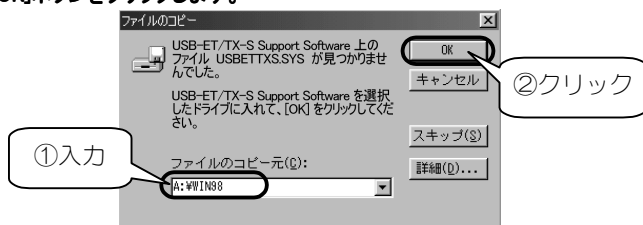
[完了]ボタンをクリックします。

以下の画面が表示された場合は

→①「USB-ET/TX-S サポートソフト」をフロッピーディスクドライブにセットします。

②[OK]ボタンをクリックします。

さらに、以下の画面が表示された場合は

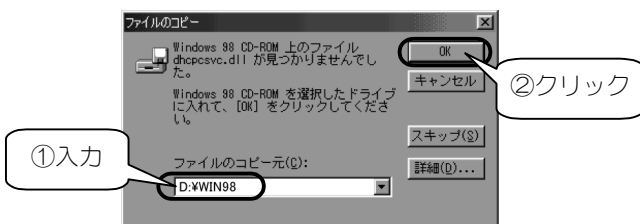
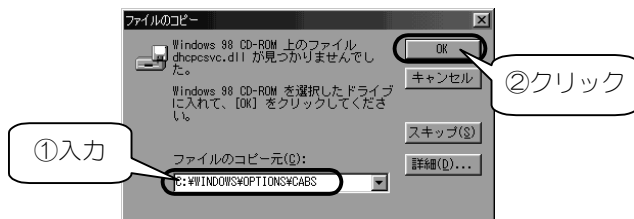
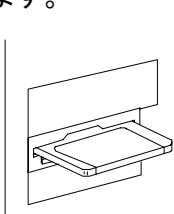
→①[ファイルのコピー元]欄に[A:¥WIN98](フロッピーディスクドライブが A の場合)と入力します。

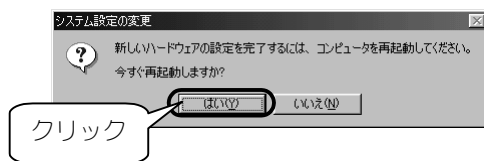
②[OK]ボタンをクリックします。

「Windows 98 CD-ROM」を要求された場合は

→①「Windows 98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。

②[OK]ボタンをクリックします。

(次ページへ続く)

さらに、以下の画面が表示された場合は
→①[ファイルのコピー元]欄を以下のように指定します。
　　[D:¥WIN98](CD-ROMドライブがDドライブの場合)
　　※Windows 98 プリインストールモデルをお使いの方は、下記の「注意」もご覧ください。
②[OK]ボタンをクリックします。

[ファイルのコピー]画面で、お使いのパソコンがWindows 98 プリインストールモデルの場合は
→①[ファイルのコピー元]欄を以下のように指定します。
　　[C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS]
　　(Windows 98 がインストールされているドライブがCドライブの場合の例)
②[OK]ボタンをクリックします。

[ファイルのコピー]画面で、Windows 95 プリインストールモデルを Windows 98 (Second Edition を含む)へアップグレードした場合、および Windows 98 プリインストールモデルを Windows 98 Second Edition へアップグレードした場合は
→①[ファイルのコピー元]欄で、[C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS]は選択せず、CD-ROMドライブを参照してください。
②[OK]ボタンをクリックします。

サポートソフトを取り出します。

[はい]ボタンをクリックします。

Windows を再起動します。

以上でインストールは終了です。

次ページを参照して終了後の確認を行ってください。

インストール終了後の確認

ここでは、本製品が Windows 98 に正常に認識されていることを確認します。

確認事項 I

パソコンを再起動します。

起動途中で以下の画面が表示されますので、任意の[ユーザー名]と[パスワード]を入力して[OK]ボタンをクリックします。

デスクトップ上に「ネットワークコンピュータ」アイコンが追加されたことを確認してください。

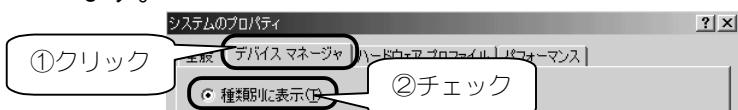
手順 2,3 の画面が表示されない場合は、以下の2点を確認してください。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]を順に開き、
①[現在のネットワークコンポーネント]に[Microsoft ネットワーククライアント]があることを確認してください。
②[優先的にログオンするネットワーク]が[Microsoft ネットワーククライアント]に設定されていることを確認してください。

Windows 98 では、パスワード管理も一元化されています。ユーザーID とパスワードを利用するネットワークで同一にしておくと、1つのネットワークにログインすれば、他のネットワークにユーザーID とパスワードの入力無しでログイン可能です。

確認事項 Ⅱ

[マイコンピュータ]を右クリックし、表示されたメニュー内の[プロパティ]をクリックします。

[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をチェックします。

[デバイスマネージャ]画面で以下を確認します。

①[ネットワークアダプタ]をダブルクリックして、
②[I-O DATA USB-ET/TX-S]を確認します。

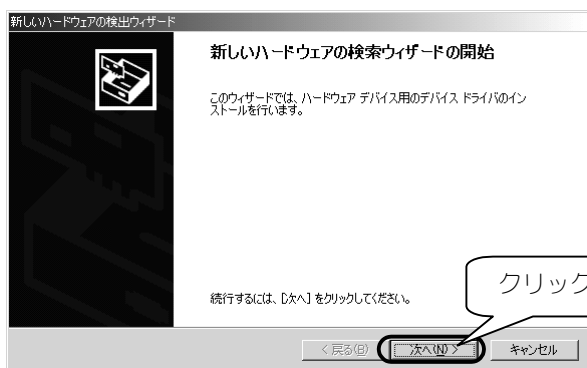
確認後、[OK]ボタンをクリックします。

[I-O DATA USB-ET/TX-S]が表示されない、または前に「！」マークがある場合は
→39 ページを参照してください。

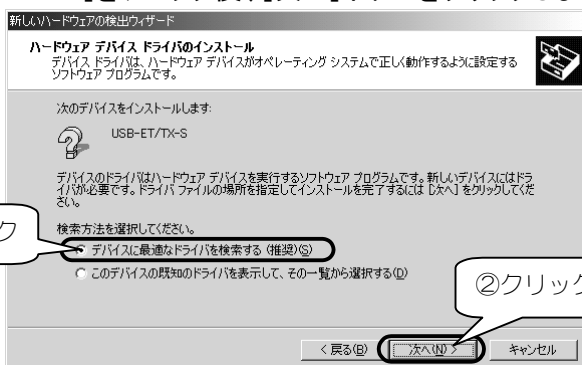
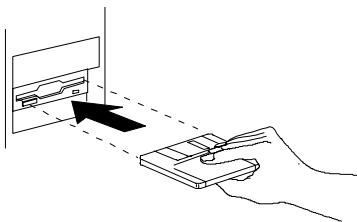
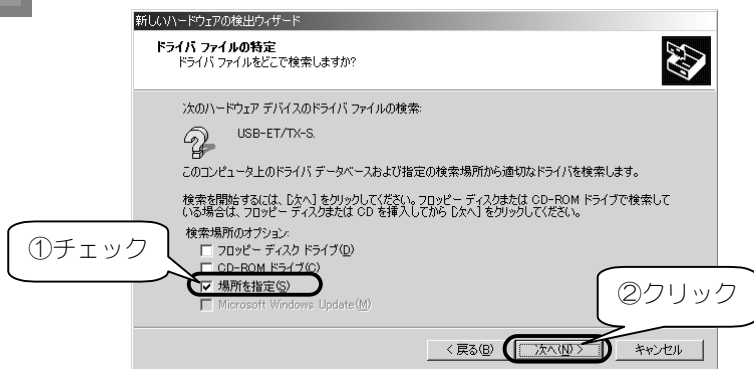
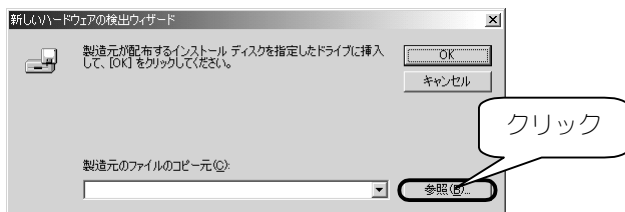
Windows 2000

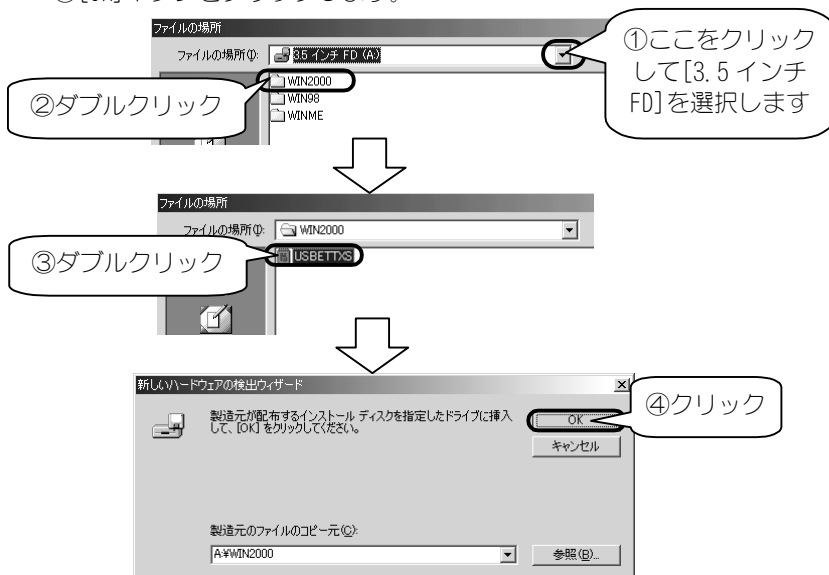
インストール

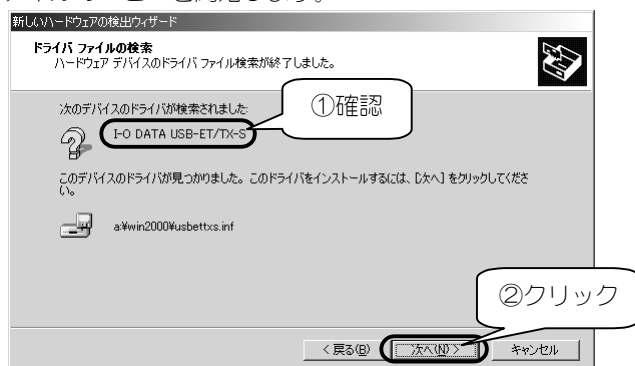
Windows 2000 を起動し、本製品をパソコン(または USB ハブ)の USB ポート(A タイプ)に接続します。

本製品の接続は、第2章【接続しよう】を参照してください。

2 [次へ]ボタンをクリックします。

手順 *2* の画面が表示されない場合は
→43 ページを参照してください。

3 [デバイスに…]をチェック後、[次へ]ボタンをクリックします。

4 サポートソフトをフロッピーディスクドライブにセットします。

5 [場所を指定]のみにチェック後、[次へ]ボタンをクリックします。

6 [参照]ボタンをクリックします。

インストールするドライバの場所を指定します。

①[3.5 インチ FD]（フロッピーディスクドライブ）を選択します。
②[WIN2000]（フォルダ）をダブルクリックします。
③ファイルをダブルクリックします。
④[OK]ボタンをクリックします。

[I-O DATA USB-ET/TX-S]と表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。

ファイルのコピーを開始します。

[I-O DATA USB-ET/TX-S]と表示されていない場合は
→[戻る]ボタンをクリックして、手順6, 7 の画面(検索場所の指定でフロッピーディスクドライブの「WIN2000」フォルダが指定されていること)を確認してください。

9 [完了]ボタンをクリックします。

以上でインストールは終了です。

次ページを参照して終了後の確認を行ってください。

インストール終了後の確認

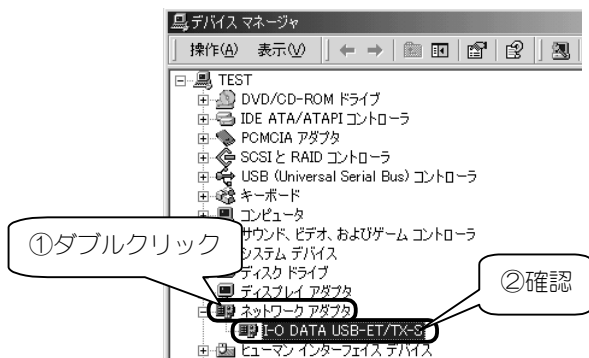
ここでは、本製品がWindows 2000に正常に認識されていることを確認します。

[マイコンピュータ]を右クリックし、表示されたメニュー内の[プロパティ]をクリックします。

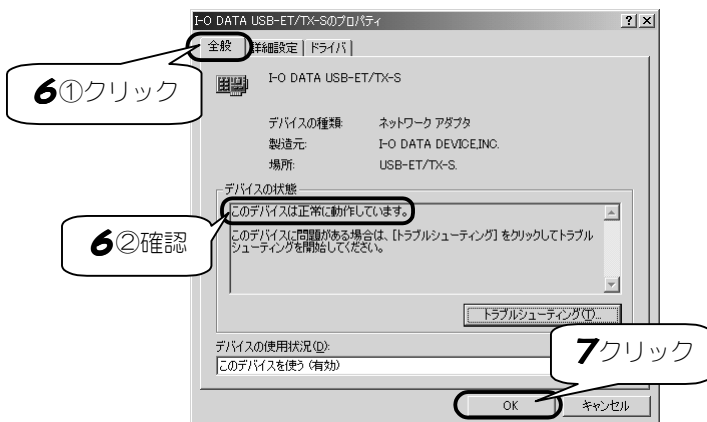
2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

3 [表示]メニューから[デバイス(種類別)]を選択します。

4 [デバイスマネージャ]画面で以下を確認します。

①[ネットワークアダプタ]をダブルクリックして、
②[I-O DATA USB-ET/TX-S]を確認します。

[I-O DATA USB-ET/TX-S]が表示されない、または前に「！」マークがある場合は→39 ページを参照してください。

手順4 ②の[I-O DATA USB-ET/TX-S]をダブルクリックします。

[全般]タブをクリックし、[デバイスの状態]欄で正常に動作していることを確認します。

確認後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

正常に認識されていることが確認できましたら、本製品を Windows 2000 で使用できます。

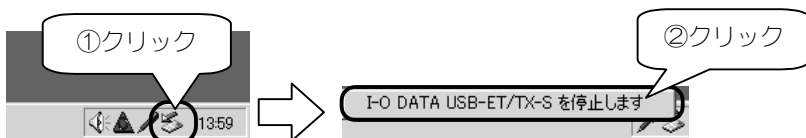
Windows 2000 使用中に取り外す方法

Windows 2000 を使用中でも本製品を取り外すことができますが、本製品の動作を終了せずに取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。
以下のいずれかの方法で取り外してください。

・【取り外し方法-その１-】→ 下記参照
・【取り外し方法-その２-】→ 次ページ参照

・本製品を取り外す場合は、データ通信をしていない事を確認してから取り外してください。
・以下の手順で取り外し作業を行うと、実際に本製品を抜かなくても動作は終了したとみなされ、本製品は使用できなくなります。
再度使用したいときは、いったん本製品を抜いてから再び差し込んでください。

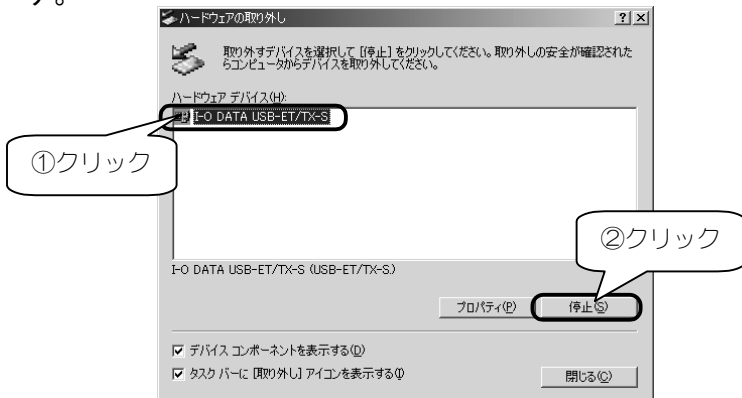
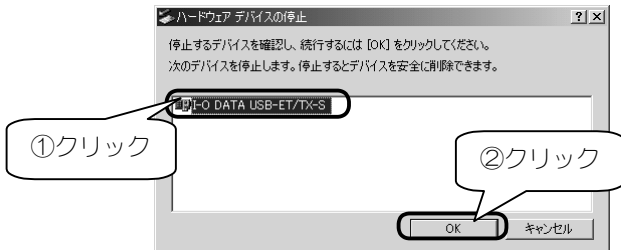
取り外し方法 −その1−

画面右下のタスクトレイにある取り外しアイコンをクリックし、
[I−O DATA USB−ET/TX−S を停止します]をクリックします。

2 [OK]ボタンをクリックします。

本製品を USB ポートから取り外してください。

取り外し方法 –その2–

1 画面右下のタスクトレイにある取り外しアイコンをダブルクリックします。

2 [I–O DATA USB–ET/TX–S]をクリックし、[停止]ボタンをクリックします。

3 [I–O DATA USB–ET/TX–S]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

4 [OK]ボタンをクリックします。

5 手順**2**の画面が表示されますので、[閉じる]ボタンをクリックします。

本製品をUSBポートから取り外してください。

4 付　録

ここでは、以下のことを説明します。必要に応じてお読みください。

P38　困ったときには<もくじ>

うまく取り付けできない、思ったように動作しないときなどには、同じ現象がないかどうか、まず、ここをご参照ください。

P39　困ったときには

ここには問題の現象とその対処方法が書かれています。問題の大半はすぐに解決できることです。是非、お試しください。

P46　アンインストール

ここでは、パソコンにインストールされた情報を削除する（アンインストール）方法を説明します。

P51　ファイル/プリンタの共有

Windows Me/98 上でファイルやプリンタを共有する方法を、一例をあげて説明します。

P63　仕　様

本製品の基本仕様を説明します。

困ったときには＜もくじ＞

困ったときには

USBポートが1つのみのパソコンで、USBフロッピーディスクドライブを使用しているので、インストールできない

対処　9ページを参照して、サポートソフトの内容をハードディスクにコピーしてください。

フロッピーディスクドライブの無いパソコンを使用しているので、インストールできない

対処　10ページを参照して、サポートソフトを入手してください。

・ドライバをインストール後、正常に動作しない
・[I-O DATA USB-ET/TX-S]が表示されない、または前に「！」マークが付いている

原因　本製品が正しく接続されていない。

対処　11ページ【第2章　接続しよう】を参照し、再度接続を行ってください。

原因　正しくインストールされていない。

対処　以下の手順で再インストールしてください。

①アンインストール（インストールした情報を削除）※1します。

②Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

③本製品をいったん取り外し、再度接続します。

④パソコンの電源を入れ、再度インストール※2します。

※1：Windows Me、Windows 98は46ページ、Windows 2000は48ページを参照

※2：Windows Meは16ページ、Windows 98は21ページ、Windows 2000は29ページを参照

原因　Windows Me/98のUSB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラのドライバが正しく動作していない。

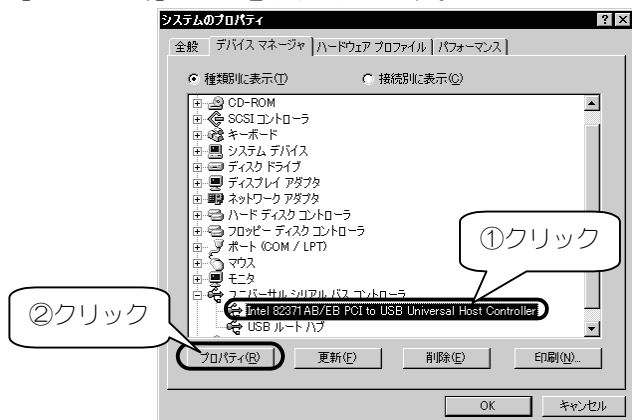
対処　以下の手順でドライバが正常かどうか確認します。

①[マイコンピュータ]を右クリックし、表示されたメニュー内の[プロパティ]をクリックします。

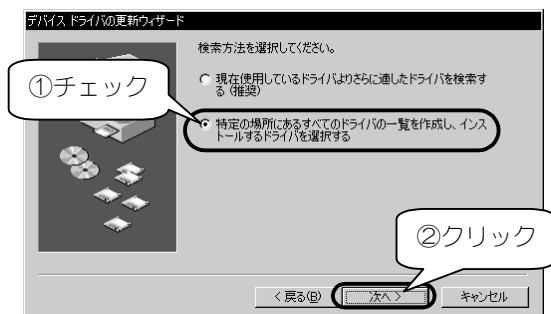
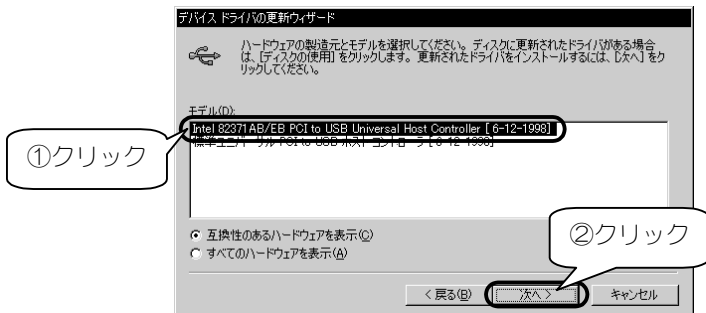
②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]の前に「！」または「×」が付いている場合は、ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。
→次ページを参照し、ドライバの更新を行ってください。

※上記の操作を行っても正常に動作しない場合は、パソコン本体のメーカーにお問い合わせください。

ドライバの更新

USB ホストコントローラ(**名称は機種により異なります**)をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

2 [ドライバ]タブをクリック後、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。

3 [次のデバイスの更新されたドライバを検索します]画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

4 [特定の場所にある…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

5 [モデル]欄でインストールするユニバーサルシリアルバスコントローラのドライバをクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

6 [次のデバイス用のドライバファイルを検索します]画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

7 Windows の CD-ROM を要求された場合、Windows の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[OK]ボタンをクリックしてください。

（上記の画面は Windows 98 の例）

[ファイルのコピー]画面で、[ファイルのコピー元]欄を以下の様に指定し、[OK]ボタンをクリックします。

・Windows 98 の場合

「D:¥WIN98」(CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)と入力します。

※Windows 98 プリインストールモデルの場合は

「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力します。

(Windows 98 がインストールされているドライブが C ドライブの場合)

・Windows Me の場合

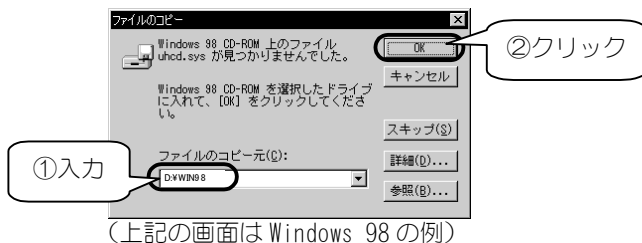
Windows Me プリインストールモデルの場合は

「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力します。

(Windows Me がインストールされているドライブが C ドライブの場合)

Windows Me にアップグレードまたは新規インストールの場合は

「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL」と入力します。

(Windows Me がインストールされているドライブが C ドライブの場合)

(上記の画面は Windows 98 の例)

[完了]ボタンをクリックします。

以上でドライバの更新は完了です。

インストール時に本製品が自動検出されない

原因	本製品が正しく接続されていない。
対処	11 ページ【第２章　接続しよう】を参照し、再度接続を行ってください。

原因	バスパワーモードの USB ハブに接続している。
対処	本製品はパソコン本体のUSBポートに直接接続するか、セルフパワーモードのUSBハブに接続してください。

原因	すでにインストール済みである。
対処	本製品を１度インストールすると、本製品の USB A コネクタを抜き差ししても「新しいハードウェアの追加ウィザード」（Windows Me/98）または「新しいハードウェアの検索ウィザード」（Windows 2000）画面は表示されません。USB A コネクタを差し込むだけで接続準備完了となります。

原因

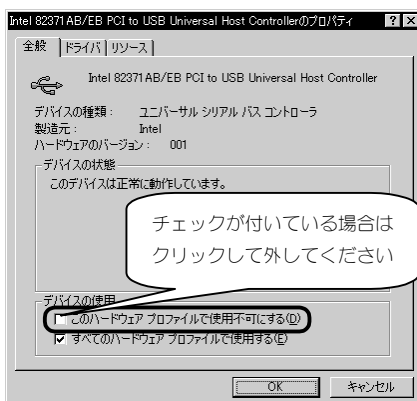
Windows Me/98 で、USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラが使用不可になっている。

対処

以下の手順で「使用可」にします。

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]を順に開きます。

②[デバイスマネージャ]タブで、[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下にある[USB ホストコントローラ]（注：名称は機種により異なります）を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

③[デバイスの使用]欄の[このハードウェアプロファイルで使用不可にする]のチェックを外します。

原因　他のデバイスとして認識されている。

対処　本製品を接続したままで以下の手順をお試しください。

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]を順に開きます。
②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[その他のデバイス]という項目があるか確認します。
③あったならば、[その他のデバイス]をダブルクリックし、その下に[USB-ET/TX-S]がないか確認します。
④あったならば、[USB-ET/TX-S]をクリックし、[削除]ボタンクリックします。
⑤本製品を差し直して、自動検出されるか確認してください。

「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」の後、動作が不安定になる

対処　「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」を行わないように設定してください。

「レジューム」「ハイバネーション」はメーカー独自のユーティリティやパソコン本体のBIOSで設定している場合があります。設定を変更するにはパソコン本体の取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

「レジューム」

→レジューム機能とは、しばらく何も操作しないでいたり、電源を入れたままノートパソコンのふたを閉めると自動的に働く省電力機能です。

レジューム機能の停止方法(Windows Me/98の例)

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[電源の管理]アイコンをダブルクリックします。
②[システムスタンバイ]欄の[電源に接続][バッテリを使用中]を共に「なし」に設定してください。

「ハイバネーション」(休止状態)

→ハイバネーション機能とは、電源を切る直前の状態をハードディスクに保存しておき、電源を入れた時に元の状態に戻す機能です。
ハイバネーション機能が無効になるよう設定してください。

「スタンバイ」

→本製品を使用中は、スタンバイ機能に対応しているパソコンでは"[スタート]→[Windowsの終了]"で選択できますが、これを選択しないでください。

インストールの途中で、「デバイスをインストール中にエラーが発生しました。INF に必要な行が見つかりません。」というメッセージが表示されて、インストールが完了できない。

対処　【アンインストール】(46 ページ)を参照してアンインストールを行ってください。その後で再度インストール(15 ページ)を行ってください。

アンインストール

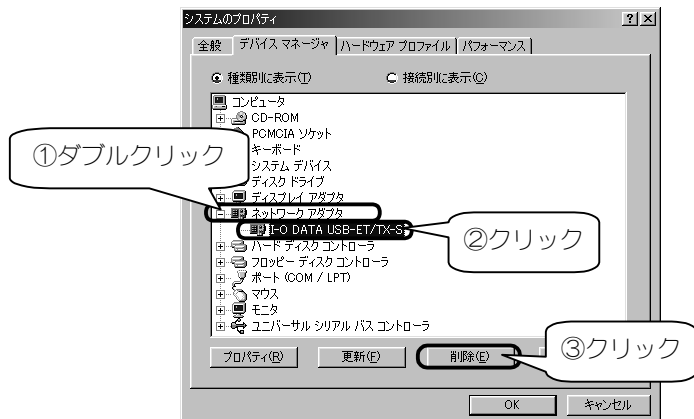
インストールされた情報を削除する（アンインストール）方法を説明します。
お使いの OS により方法が異なりますので、以下の必要な個所をお読みください。

・【アンインストール -Windows Me/98 編-】→ 下記参照
・【アンインストール -Windows 2000 編-】 → 48 ページ参照

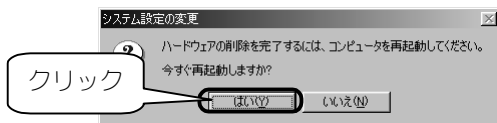
アンインストール -Windows Me/98 編-

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、表示されたメニュー内の[プロパティ]をクリックします。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をチェックします。

3 [ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。
表示された[I-O DATA USB-ET/TX-S]をクリックし、[削除]ボタンをクリックします。

[デバイス削除の確認]画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

[はい]ボタンをクリックします。

再起動後に本製品を取り外します。

[すべてのファイルを表示する]に設定します。

①[スタート]→[プログラム]→[エクスプローラ]を順にクリックします。
②[ツール]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
③[表示]タブをクリックします。
④[すべてのファイルとフォルダを表示する]をチェックします。
⑤[OK]ボタンをクリックします。

"②[ツール]メニューの[フォルダ オプション]"が無い場合、以下の手順で設定します。
→②[表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
③[表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
④[OK]ボタンをクリックします。

7 [エクスプローラ]画面で、以下の手順でファイルを削除します。

①-1：Windows がインストールされたドライブ→[Windows]フォルダ→[System]フォルダを順にダブルクリックします。
①-2：[System]フォルダ内にある[USBETTXS.SYS]を右クリックし、表示されたメニュー内の[削除]をクリックします。
①-3：[ファイルの削除の確認]画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

②-1：Windows がインストールされたドライブ→[Windows]フォルダ→[Inf]フォルダ→[Other]フォルダを順にダブルクリックします。
②-2：[Other]フォルダ内にある[I-O DATA DEVICE, INC.USBETTXS.INF]を右クリックし、表示されたメニュー内の[削除]をクリックします。
②-3：[ファイルの削除の確認]画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

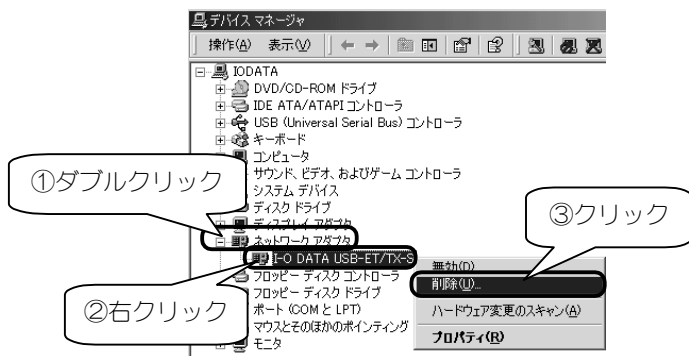
以上で、インストールされた情報の削除は終了です。

アンインストール –Windows 2000 編–

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、表示されたメニュー内の[プロパティ]をクリックします。

2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

3 [表示]メニューから[デバイス(種類別)]を選択します。

4 [ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。
表示された[I-O DATA USB-ET/TX-S]を右クリックし、表示されたメニュー内の[削除]をクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックします。

[すべてのファイルを表示する]に設定します。

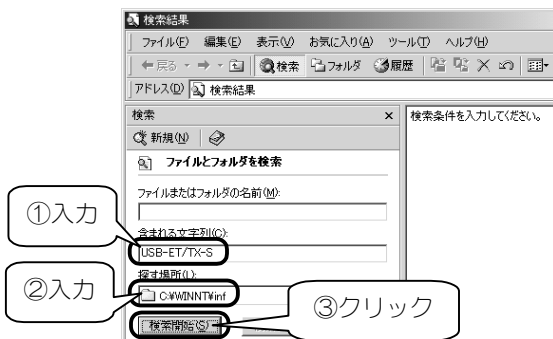
①[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を順にクリックします。
②[ツール]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
③[すべてのファイルとフォルダを表示する]をチェックします。
④[OK]ボタンをクリックします。

[エクスプローラ]画面で、以下の手順でファイルを削除します。

①：Windowsがインストールされたドライブ→[Winnt]フォルダ→[System32]フォルダ→[Drivers]フォルダを順にダブルクリックします。
②：[Drivers]フォルダ内にある[USBETTXS.SYS]を右クリックし、表示されたメニュー内の[削除]をクリックします。
③：[ファイルの削除の確認]画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

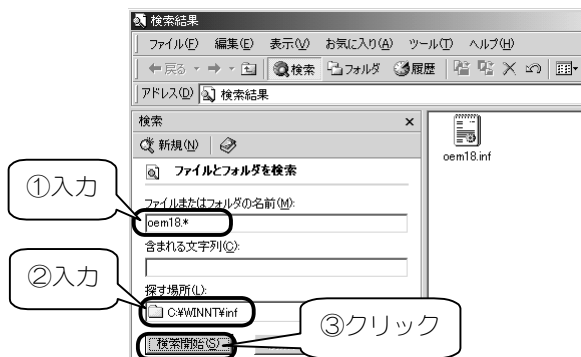
[スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]を順にクリックします。

ファイルを検索します。

①[含まれる文字列]欄に「USB-ET/TX-S」と入力します。
②[探す場所]欄に「C:¥WINNT¥INF」※と入力します。
※Windows 2000がCドライブにインストールされている場合
③[検索開始]ボタンをクリックします。

「oemXX.inf」※が検索されます。

※XX は、ご使用の環境により異なります。

手順 *10* で検索されたファイル名を使って検索します。

①[ファイルまたはフォルダの名前]欄に「oemXX.*」※1 と入力します。
※1：XX は、手順 *10* で検索されたファイル名を使います。
②[探す場所]欄に「C:¥WINNT¥INF」※2 と入力します。
※2：Windows 2000 が C ドライブにインストールされている場合
③[検索開始]ボタンをクリックします。

12 検索された「oemXX.inf」※と「oemXX.pnf」※を削除します。

※XX は、ご使用の環境により異なります。

本製品をパソコンから取り外し、パソコンを再起動します。

以上で、インストールされた情報の削除は終了です。

ファイル/プリンタの共有

Windows Me/98 を利用したピア･ツー･ピア接続では、ファイルやプリンタの共有（ファイルやフォルダ及びプリンタを他のパソコンからアクセス可能）が簡単にできます。ここでは、Windows Me/98 でファイルやプリンタを共有にする設定について、一例を挙げて説明しています。設定の参考にしてください。

ファイルの共有	ワークグループ内のデータのやり取りがマウス操作（マウスのドラッグ アンド ドロップ）で簡単に行えます。データのやり取りにフロッピーディスクなどは必要なくなります。
プリンタの共有	自分のパソコンにプリンタを接続していなくても、ワークグループ内のプリンタを使用できます。

プリンタを共有させる（プリンタを接続している）パソコンには、負荷がかかります。また、そのパソコンに電源が入っていなければ使用できません。プリンタの共有を行う場合は、弊社製プリントサーバ（PS1E シリーズなど）のご利用をお勧めします。

設定手順

ファイルやプリンタの共有を行うには、ワークグループ内の各パソコンで以下の設定が必要です。

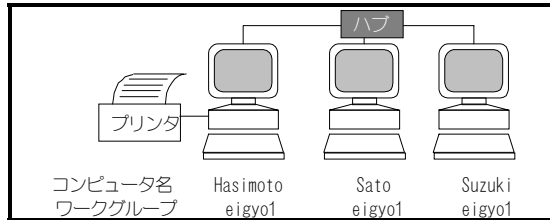
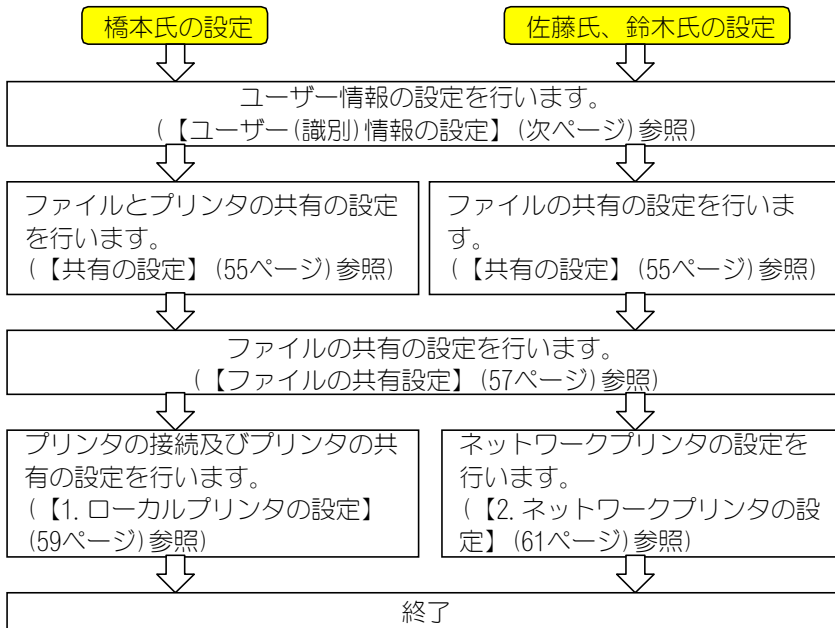
1．[ネットワーク]画面での[ユーザー（識別）情報]の設定
　❶ ユーザー（識別）情報の設定（53 ページ参照）
2．「共有」の設定
　❷ 共有の指定（55 ページ参照）
　❸ ファイルの共有設定（57 ページ参照）
　❹ プリンタの共有設定（59 ページ参照）

ここでは、次ページの営業１課のワークグループ（ワークグループ：eigyou1）での設定を例として説明します。

<設定例>

No	所属	名前	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名	ﾜｰｸｸﾞﾙｰﾌﾟ	共有の設定
１	営業１課	橋本	Hasimoto	eigyo1	ﾌｧｲﾙ及びﾌﾟﾘﾝﾀ
２	営業１課	佐藤	Sato	eigyo1	ﾌｧｲﾙ
３	営業１課	鈴木	Suzuki	eigyo1	ﾌｧｲﾙ

※　「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名」及び「ﾜｰｸｸﾞﾙｰﾌﾟ」は、次ページの【ユーザー（識別）情報の設定】時に必要となります。

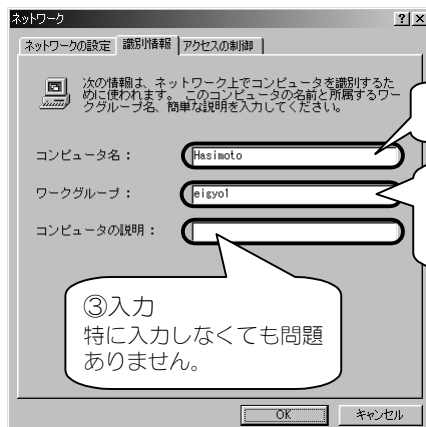
<構成>

<作業手順>

ユーザー（識別）情報の設定

ワークグループを形成するすべてのパソコンでユーザー情報を設定します。

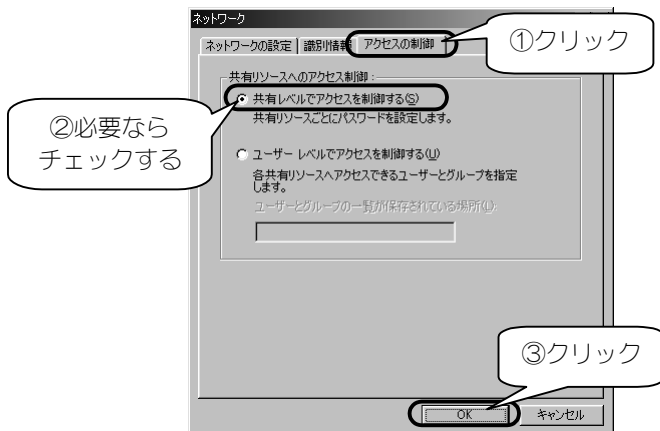
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]アイコンを順に開きます。

2 [優先的にログオンするネットワーク]欄で[Microsoft ネットワーククライアント]を選択します。

3 [識別情報]タブをクリックし、<設定例>(52 ページ)を参照して設定するパソコンすべてに[コンピュータ名][ワークグループ][コンピュータの説明]をそれぞれ入力し、[OK]ボタンをクリックします。

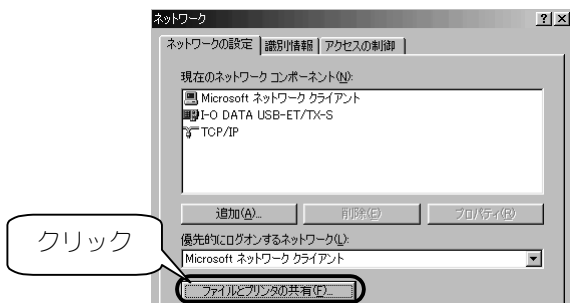
入力文字は半角・英数文字を使用してください（スペース・特殊文字・全角は使用不可)。また[コンピュータ名][ワークグループ]は 15 文字まで入力可能です。

アクセス権の設定を行います。

①[アクセスの制御]タブをクリックします。

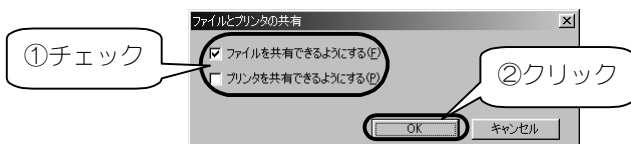
②Windows Me/98のピア・ツー・ピア制御のみ行う場合は、[共有レベルでアクセスを制御する]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

次ページで【共有の設定】を行います。

共有の設定

ユーザー情報を設定後、次に、ファイル(フォルダ)やプリンタの共有を行うワークグループ内のすべてのパソコンで以下の共有の設定を行います。

[ネットワークの設定]タブで、[ファイルとプリンタの共有]ボタンをクリックします。

共有を行うファイルまたはプリンタのチェックボックスにチェックします。チェック後、[OK]ボタンをクリックします。

・ファイルの共有のチェックは、ファイルの共有を行うすべてのパソコンで行います。

・プリンタの共有のチェックは、プリンタを接続しているパソコンのみで行います。

Windows の CD-ROM を要求された場合、Windows の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[OK]ボタンをクリックします。

[ファイルのコピー]画面が表示された場合、[ファイルのコピー元]欄を以下の様に指定し、[OK]ボタンをクリックします。

・Windows 98 の場合

「D:¥WIN98」(CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)と入力します。
※Windows 98 プリインストールモデルの場合は
「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力します。
(Windows 98 がインストールされているドライブが C ドライブの場合)

・Windows Me の場合

Windows Me プリインストールモデルの場合は
「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力します。
(Windows Me がインストールされているドライブが C ドライブの場合)
Windows Me にアップグレードまたは新規インストールの場合は
「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL」と入力します。
(Windows Me がインストールされているドライブが C ドライブの場合)

ワークグループを形成する際には、ワークグループ内すべてのパソコンで、「NetBEUI」または「TCP/IP」プロトコルいずれか共通のプロトコルが必要です。(「NetBEUI」プロトコルの場合は特に設定は必要ありませんが、「TCP/IP」プロトコルの場合は、共有設定を行うすべてのパソコンで「IP ｱﾄﾞﾚｽ」「ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ」の設定が必要です。)
いずれか共通のプロトコルが無い場合はご使用の環境に合わせて、プロトコルを追加してください。([ネットワーク]画面の[追加]ボタンで[プロトコル]を追加できます。詳細は Windows の取扱説明書をご覧ください。)

[ネットワーク]画面の[OK]ボタンをクリックします。

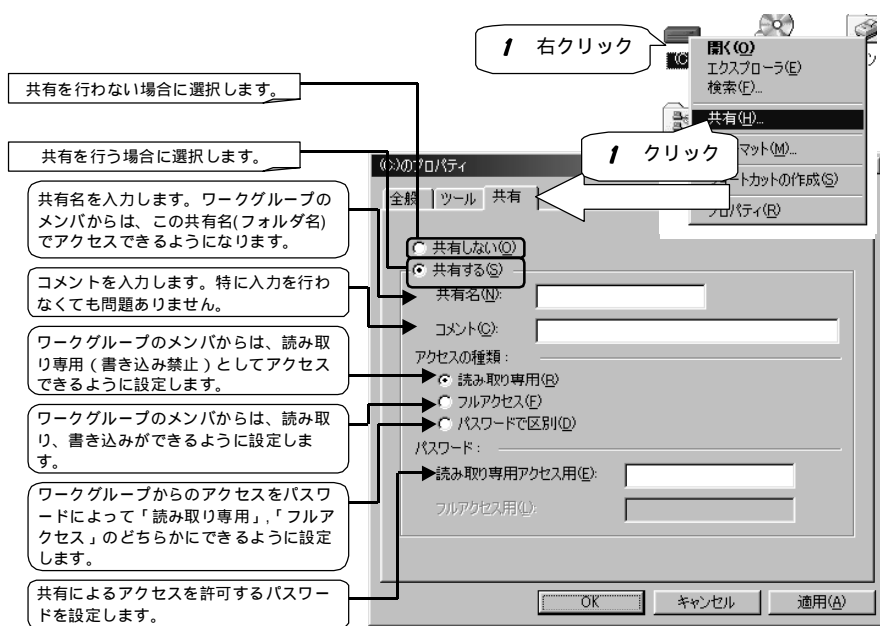
Windows を再起動します。

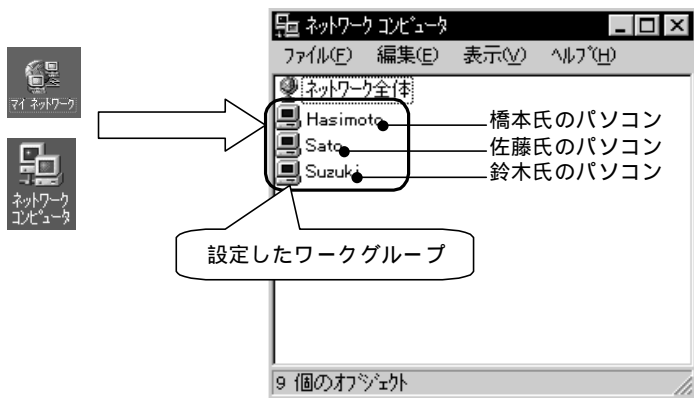
・次ページの【ファイルの共有設定】でファイルの共有設定を行います。
・59 ページの【プリンタの共有設定】でプリンタの共有設定を行います。

ファイルの共有設定

ここでは、ファイルの共有の設定について説明します。

[マイコンピュータ]や[エクスプローラ]で共有を行いたい機器やフォルダを右クリックし、表示されたメニュー内の[共有]をクリックします。

[共有]タブで、[共有する]をチェックします。
[共有名][アクセスの種類][パスワード]の設定を行います。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

すべてのパソコンでの設定終了後、デスクトップ上の[マイネットワーク]アイコン(Windows Me)または[ネットワークコンピュータ]アイコン(Windows 98)をダブルクリックします。

設定したワークグループのコンピュータ名の表示を確認してください。ワークグループの各フォルダをダブルクリックする事でワークグループ内のファイルにアクセスできるようになります。

（上記の画面は Windows 98 の例）

以上で、ファイルの共有の設定は終了です。

上記の[ネットワークコンピュータ]ウィンドウにて[ネットワーク全体]しか表示されない、もしくは自分のパソコンのアイコンしか表示されない場合は以下をご確認ください。

①他のワークグループのメンバーとの[プロトコル][ワークグループ]が一致していますか？一致していない場合は、一致させてください。

②[コンピュータ名][ワークグループ]に、全角文字・半角カタカナ・特殊文字・スペースを使用していませんか？[コンピュータ名][ワークグループ]は、15 文字以内で半角・英数文字を使用してください。

③ハブや LAN アダプタの Link ランプは点灯していますか？点灯していない場合は、接続等を再度確認してください。

④TCP/IP プロトコルを使用して共有する場合、[ネットワークコンピュータ]に表示されるまでにかなり時間がかかる場合があります。しばらくしてから[スタート]→[検索]→[ほかのコンピュータ]でコンピュータ名を検索してください。

プリンタの共有設定

ここでは、プリンタの共有の設定について説明します。プリンタが接続されているパソコンと接続されていないパソコンでは、設定の手順が異なります。
まず、プリンタが接続されているパソコンで共有設定を行った後（以下の【1. ローカルプリンタの設定】参照)、他のパソコンでネットワークプリンタの設定（【2. ネットワークプリンタの設定】(61 ページ) 参照）を行います。

【1. ローカルプリンタの設定】

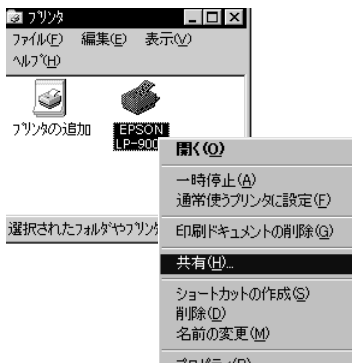
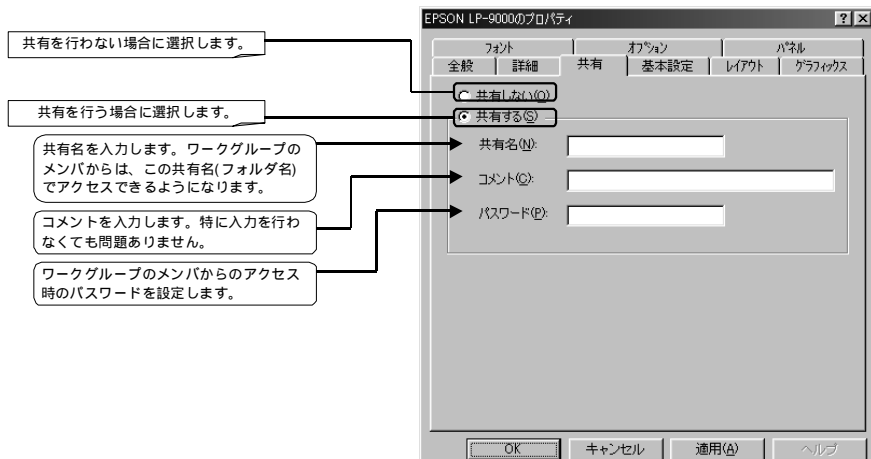
（プリンタが接続されているパソコンの設定）

ここでは、プリンタが接続されているパソコン（<設定例> (52 ページ) での橋本氏のパソコン）でのプリンタの共有設定を、エプソン株式会社製 LP-9000 を例にして説明します。

プリンタの接続及び Windows Me/98 でのプリンタの設定を行ってください。

接続及び設定に関しては、プリンタに付属の取扱説明書、Windows Me/98 の取扱説明書及びヘルプを参照してください。

設定後、プリンタの共有の設定を行います。

①[マイコンピュータ]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックします。
②設定したプリンタを右クリックし、表示されたメニュー内の[共有]をクリックします。

[共有]タブで、[共有する]をチェックします。
[共有名][コメント][パスワード]の設定を行います。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

以上で設定終了です。
[マイコンピュータ]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックすると設定したプリンタが共有指定されています。

次ページの【2. ネットワークプリンタの設定】を行います。

【2. ネットワークプリンタの設定】

（プリンタが接続されていないパソコンでの設定）

ここでは、プリンタが接続されていないパソコン（<設定例>52 ページでは鈴木氏、佐藤氏のパソコン）からローカルプリンタ（<設定例>では橋本氏のプリンタ）を使用するためのネットワークプリンタの設定について説明します。

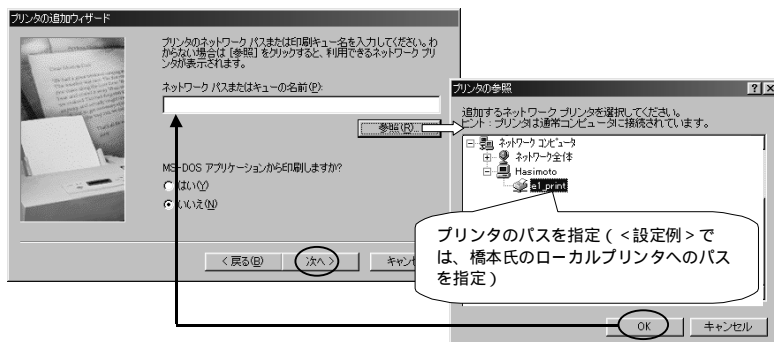
ネットワークプリンタを使用するには、【1. ローカルプリンタの設定】(59 ページ)でローカルプリンタが設定済みである必要があります。

1 [スタート]→[設定]→[プリンタ]の「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。

2 [プリンタウィザード]画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

3 [プリンタはどこに接続されていますか?]では、[ネットワークプリンタ]を選択後、[次へ]ボタンをクリックします。

4 [ネットワークパスまたはキューの名前]欄では、ネットワークパス（ローカルプリンタへのパス名）を指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

わからない場合は、[参照]ボタンでローカルプリンタが接続されているパス名（<設定例>(52 ページ)での橋本氏のプリンタへのパス名）を選択後、[OK]ボタンをクリックすれば設定できます。

5 「プリンタウィザード」画面でプリンタの設定を行ってください。「プリンタ名」を入力後、[次へ]ボタンをクリックします。

6 「印字テストを行いますか？」では、テストページを印刷する場合は「はい」を、しない場合は「いいえ」を選択後、[完了]ボタンをクリックします。

ファイルのコピーを開始します。

7 Windows の CD-ROM を要求された場合、Windows の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[OK]ボタンをクリックします。

8 [ファイルのコピー]画面が表示された場合、[ファイルのコピー元]欄を以下の様に指定し、[OK]ボタンをクリックします。

・Windows 98 の場合

「D:¥WIN98」（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）と入力します。

※Windows 98 プリインストールモデルの場合は

「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力します。

（Windows 98 がインストールされているドライブが C ドライブの場合）

・Windows Me の場合

Windows Me プリインストールモデルの場合は

「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力します。

（Windows Me がインストールされているドライブが C ドライブの場合）

Windows Me にアップグレードまたは新規インストールの場合は

「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL」と入力します。

（Windows Me がインストールされているドライブが C ドライブの場合）

9 [マイコンピュータ]画面の「プリンタ」アイコンをダブルクリックします。

設定したプリンタが表示されています。

以上でプリンタの共有の設定は終了です。

仕　様

準拠規格	USB Specification Revision 1.1 IEEE802.3/802.3u
インターフェイス	USB A コネクタ×1 10BASE-T/100BASE-TX ポート（RJ-45）×1
LED インジケータ	LINK/ACT/SPEED 兼用×1 （赤：10BASE-T、緑：100BASE-TX）
使用温度範囲	0～+40℃ （パソコンの動作する温度範囲であること）
使用湿度範囲	10～85% （ただし、結露なきこと）
電源	バスパワー（USB ポートより供給）
消費電流(MAX)	200mA
サイズ	34(W)×62(L)×27(H) mm （ケーブル含まず）
質量	約 34g
適応規格	VCCI classB
ケーブル長	約 30cm

PLANT コールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトディスクのシリアル No.とバージョン
   (フロッピーディスクのラベルに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用して、E-Mail をお送りください。

■郵便

〒920-8513　　石川県金沢市桜田町２丁目８４番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-ET/TX-S」係　宛

■電話

電話番号	**金沢**	**076-260-3644**
	東京	**03-3254-1144**
受付時間	**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**	

■FAX

FAX 番号	**金沢**	**076-260-3360**
	東京	**03-3254-9055**

宛先　　株式会社アイ･オー･データ機器
PLANT コールセンター「USB-ET/TX-S」係　宛

本製品に関するお問い合わせは PLANT コールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/ →「サポートライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目８４番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-ET/TX-S」サービス窓口　宛
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-ET/TX-S」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口　「USB-ET/TX-S」サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。